



▼出村氏の指揮のもと肩を組み応援歌を歌う参加者



▲前回の「校友の集い」で応援歌「グレーター立命」を力強く指揮する出村氏

# 校友の集い

平成22年11月6日(土)

立命館大学福井県校友会の「校友の集い」が、十一月六日(土)午後五時よりホテルフジタ福井で開催されます。多数の校友の参加をお待ちしております。

二年ごとに開催されている県校友会は、前回より「校友の集い」と改称され、今回も気楽に参加してもらおうといま係の方でも準備を進めています。この集いをきっかけに、年齢を超えたより広がった交流が生まれますことを期待しています。大学からは、国廣敏文立命館常務理事(産業社会学部教授)や中村義孝立命館大学校友会総務委員長

# 立命館

題字は校友 腰田宣行氏

第20号

立命館大学福井県校友会  
福井市村岡一丁目1番地  
電話0776(98)4671  
印刷 株式会社大和印刷所

平成二十年十月十八日(土)、「ウエルシテイ福井」で福井県校友会校友の集いを開催(参加者約百二十名)。今回から名称を「校友の集い」と改め、さらなる発展を期しての開催となった。

物故者への黙祷、学園歌斉唱に続き、福井テレビの松枝隆一氏(H3法)の司会で始まった総会は、冒頭、山本隆治会長(S29理)から「校友の皆様には立命館大学を卒業したことを自負していただき、更に母校の発展を応援していただきたい。また本日を

## 新会長に村尾氏

もって会長を勇退したい」旨の挨拶があった。その後、古村隆一幹事長(S33文)から前々回の総会以降二年間の校友会活動報告があり、光森久幸氏(S41経)の会計報告、清水俊宏氏(S53経)の監査報告が行なわれ、七名の選挙委員会から推挙された村尾敬治氏(昭47産社)を新会長に、さらに品谷義雄氏(S48法)を副会長に、また新たな常任幹事・幹事各氏を承認し、新体制を確認して終了した。(下記に役員名簿)

では、村尾新会長が「伝統ある福井県校友会をさらに楽しく活発な会にしたい」と挨拶、来賓の肥塚浩副総長から学園の近況が報告された。また西村義行本部副会長からは、全国校友会の近況の報告があった。このあと石川・富山の校友会を代表して加納裕石川県校友会会長のご発声で乾杯、歓迎に入った。

歓迎の輪が広がる中、福井県、福井市、福井信用金庫、福井商工会議所、福井テレビの職場単位での自己紹介・スピーチが行なわれた。さらに伊東純一氏(S45理)と光明氏(H12理)の親子校友や新たに校友会に参加した八名に

欠席される方へお願い  
ました郵便振替用紙で、年会費(平成二十二年・二十三年の二年分)一、〇〇〇円を納入して下さい。(送料不要)会の円滑な運営のためにも、必ず納入お申し込み申し上げます。

平成二十二年十月

先輩・後輩だったなど楽しい発見があり、共通の話題で一気打ち解け、今ではすっかり仲良くなりました。その四年前の総会出席メンバーが後輩や職場等で知り合った若手校友に呼びかけ、その輪はどんどん大きくなっていきます。全国的にもこれほど若手

### 平成二十二年校友の集いの案内

一、日 平成二十二年十一月六日(土) 午後五時 開会(受付は四時三十分から) ホテル フジタ福井 (福井市大手三丁目十一番地 ☎0776-27-8811)

二、場 所

三、会 費  
男性 八、〇〇〇円  
女性 五、〇〇〇円  
新卒者 五、〇〇〇円(平成二十二年卒業生者すべての方)

なお会費には平成二十二年・二十三年の年会費一、〇〇〇円を含みます。

四、プログラム  
① 総会  
② 大学近況報告  
③ 懇親パーティー  
④ 懇親パーティー  
⑤ 懇親パーティー

③ 懇親パーティー  
十月二十五日(月)までに同封のものがきに必要事項を記入の上、期日までに返信下さい。

平成二十二年十一月六日(土)午後五時よりホテルフジタ福井で開催されます。多数の校友の参加をお待ちしております。

### 広がる若手校友の輪

が活発に活動している都道府県は少ないそうです。不定期で飲み会を開いたり、お花見やBBQ、各種スポーツを楽しんだりしています。今年も、総会翌週の十一月十三日に開催されるスパーベキューで友好を深める若手校友



「校友の集い」で笑顔の校友

パーレディス駅伝にて母校応援も企画しています。卒業年度や職場が違っても、福井に暮らす同じ立命館大学出身の仲間。福井県校友会では、若手の会をさらに盛り上げていきたいと思っておりますので、まずはふるって十一月六日の総会へご参加ください。(H18産社 金田美波 記)

川本八郎前立命館理事長著 『大学改革』  
川本八郎氏は、五十年間にわたり、立命館一筋に歩んできた。母校立命館大学改革に強い意欲と高い理念を持ち、その強烈なリーダーシップを発揮しその中核となって、今日の日本を代表する私立立命館に押し上げた。理事長退任後も立命館においてのみならず、各種の講演会や公的委員会などで日々活発な活動を続けている。本書は、立命館の改革の理念とそこから得られた教訓を語ったものである。(古村幹事長記)

平成二十年「校友の集い」で選出・承認された役員の方々の皆様へ、おめでとうございます。

●顧問 永多外男、壁下誠、時岡昌平、山本隆治、吉田勝  
●会長 村尾敬治  
●副会長 下西由郎、小川公一郎、澤田謙三、坂本直夫、品谷義雄  
●幹事長 古村隆一  
●常任幹事 杉原半四郎、吉川利夫、南部勇雄、木本友彦、中村邦男、岩永裕介、高橋省一郎、光森久幸(会計)、地蔵芳徳、錦織勝利、西川文夫、杉森吉博、堀川寛年、斎藤佳代子、笠松忠夫、吉川博輔、腰田宣行、西田英夫、松枝隆一、西田常夫、前川寛人、熊野輝範、橋 誠一、時岡伸行、奥瀬浩之、宇野文男、永田康寛、出村久仁男  
●幹事 木村恒昭、伊藤妙子、五十嵐和夫、村上哲夫、後衛、東條七重、宮崎俊宏、服部修次、山崎利昭、丸井久明、伊東純一、奥山秀範、武田将一郎、前原明彦、黒川忠興、金田美波  
●監査委員 広田一雄、清水俊宏

平成二十年「校友の集い」で選出・承認された役員の方々の皆様へ、おめでとうございます。

### 大和ハウス工業株式会社

Daiwa House 大和ハウスグループ

福井支店 〒918-8236 福井市和田中2丁目2101番地  
Tel.0776-23-2435 Fax.0776-27-0760

福井支店 支店長 清野 博之 (S56 産社)  
福田 佳宏 (H6 産社)

### 福井テレビ

参 与 永 多 外 男 (S25.法)  
金 沢 支 社 長 五 十 嵐 和 夫 (S53.経)  
報道局報道番組部副部長 松 枝 隆 一 (H3.法)  
編成制作局編成広報部 古 川 智 紀 (H10.経)  
報道局 報道部 安 藤 好 靖 (H19.国)

本社/〒918-8688 福井市問屋3丁目410 ☎(0776)21-2233  
支社/東京・大阪・名古屋・金沢・福南

### 杉原商店

越前和紙 株式会社

会長 杉原 半四郎 (S32.経)

〒915-0235 福井県越前市不老町17-2  
TEL (0778)42-0032 FAX (0778)42-0144

### 清水紙料株式会社

Recycle Shimizu

代表取締役 清水 光啓 (S42.経営)

本社 〒918-8005 福井市みのり2丁目19-8  
福井事業所 〒918-8021 福井市門前1丁目1605  
TEL(0776)35-3455 FAX(0776)35-3499  
坂井支店 〒919-0511 坂井市坂井町長畑16号10番地  
TEL(0776)43-3688 FAX(0776)43-3678

### 株式会社 相木魚問屋

(越前かきの名付け親)

代表取締役会長 壁 下 誠 (S26.経)  
校友会顧問

敦 賀 市 蓬 菜  
TEL (0770)22-0645(代)  
FAX (0770)23-3353

### 北陸自動車学校

公安委員会指定(実地試験免除)

(設置者) 社 長 澤 田 謙 三 (S34.法)  
福井県校友会副会長

福井市大土呂町17-38  
TEL(0776)38-2020

校友のみなさんへ

立命館大学福井県校友会  
会報20号の発刊にあたり、  
一言「あいさつ」申し上げます。

平成二十年十月十八日の  
福井県校友会総会におきま  
して、これまで、県校友会  
発展のため多大なるご尽力  
を賜ってまいりました永多  
外男会長、山本隆治会長の  
後任として選出いただきま  
した村尾です。

さて本年も、昨年同様、  
梅雨明けと同時に、日本中  
が連日、猛暑とゲリラ豪雨  
に見舞われるという、きび  
しい天候と、相変わらず落  
ち着かない政治・経済が続  
いており、気ぜわしい毎日  
をお過ごしのことと存じま  
す。



立命館大学福井県校友会  
会長 村尾 敬治

誇らしく思う 『わが立命館』

ばつていきたいと思いま  
すので、校友の皆様の従来よ  
り、なお一層のご協力をお  
願い申し上げます。

その評価の理由として、  
命館学園の評価がとて  
ばらしいこととす  
具体的には、高校の

は最近、あらためて川本八  
郎立命館顧問、前理事長の  
著書「大学改革」―立命  
館はなぜ成功したか―を

出で役に立たない人間をつ  
くる大学であればいいと思  
います。」と断言しておら  
れます。言い換えれば、学  
生や社会のために貢献して  
いないような大学は、淘汰  
されてしかるべきというこ  
とであり、これは企業はじ  
めすべての組織にあてはま  
ることだと思えます。

このような筋の通った最  
近の立命も、そして、も  
ちろん四十年前に在学した  
ときの立命も私は大好きで  
あり、したがって「わが立  
命」を誇らしく再認識し、  
還暦過ぎの精神的青年とし  
て、立命館と京都に思いを

はせ、これからの四季折々  
の京都・見歩き、食べ歩き、  
飲み歩きを目標に、人生を  
楽しみたい、と考えている  
八月の暑い日です。

最後にになりましたが、立  
命館大学の限らない発展  
と、校友の皆様方のますま  
すのご活躍とご健康をお祈  
り申し上げます。私のこ  
あいさつといたします。

（S47年産業社会卒）  
村尾敬治会長略歴  
昭和47年福井市役所入庁  
平成15年総務部長  
平成18年福井市企業管理者  
平成22年3月退職  
平成22年4月仁愛大学総  
合企画室長に就任

立命 家族

父 峠岡伸行  
母 峠岡伸哉

福井商工会議所 昭58経済学部卒  
福井商工会議所 昭58経済学部卒  
会社員 平22経済学部卒

り坂で遠いなあ」という印象  
でした。二十五年前、私自身  
に「結構、京都駅から遠いな

あ」と感じたことを思い出し  
ました。  
私の大学生活は、アルバイト  
とサークル活動に熱中し、  
決して勉強熱心であったとは  
言えませんが、大学の同級生  
以外の人達との交流やいろい  
ろな体験によって、社会人に  
なる第一歩を経験でき重要な  
時間でした。また、

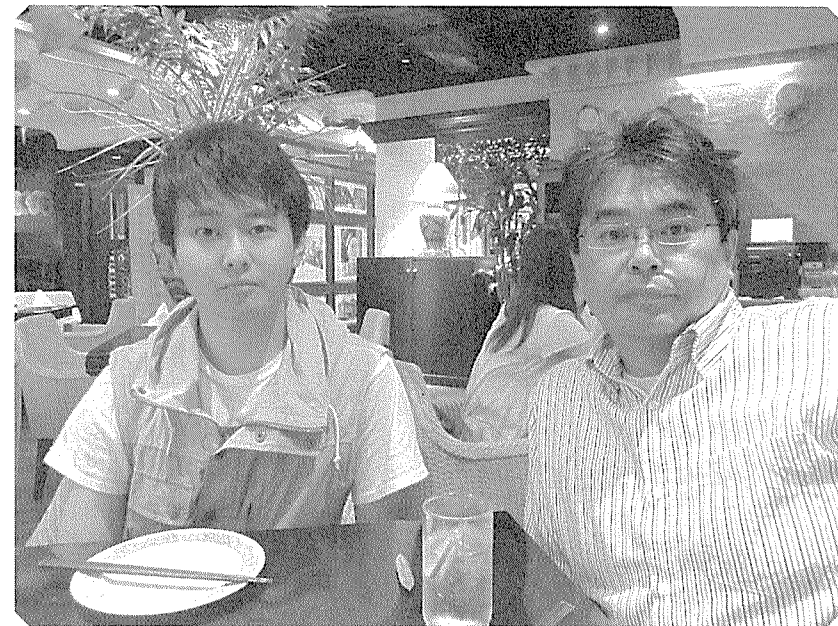
い起し、高校の先生ではサ  
ポートできない部分を、社会  
人の先輩としてアドバイスし  
たつもりです。  
さて、息子の大学生活を詳  
しく知っているわけではない  
のですが、私が期待した以上  
に多くの経験をしていたよう  
です。

小さい時から映画に興味  
があって、入学して最初に映画  
部に入り、衣装までサークル  
活動に通っていました。その  
後、サークルの先輩の誘いで  
校外のイベントサークルに参  
加し、就職活動イベントの企  
画や運営に携わったり、また  
その中で知り合った他の大学  
の人と共同で、結婚式などで  
流す映像制作を行ったり、と  
自分が大学生の頃には考え  
られなかったような責任の重  
い仕事にも取り組んでいまし  
た。

息子が卒業して、京都に行  
く機会も少なくなりました  
が、第二の「ふるさと」とし  
て思い出がたくさんあり、改  
めてゆつくりと訪れてみたい  
と思います。

親子ともに共有できた  
社会と人とのつながり

私が、初めて「びわこく  
さつキャンパス」を訪れた  
のは、平成十八年の三月初  
旬、息子が立命館大学経済学  
部へ入学を決めて、下宿探し  
に行った時です。「きれいな  
キャンパスだけど、駅から上



レストランで食事する峠岡氏親子

息子が立命館大  
学の受験を勧めた  
のは私で、自分が  
京都で過ごした大  
学生生活を体験させ  
てやりたいという  
気持ちと、東京の  
ような大都会より  
も自然や歴史が豊  
かで社会から良い  
刺激を受けられる  
のではないかと、  
感じていたからで  
す。

私自身、大学進  
学の際に経験した  
悩みや失敗を思

わるいろいろな体験ができ  
たことが、激しいといわれた  
昨年の就職戦線乗り切る源  
になったのかなと感じていま  
す。

息子もこの春から東京で就  
職し、忙しい中にもやりがい  
ある仕事をしているよう  
です。

寄付名簿

立命館大学総長・理事  
長・宇治高等学校長より、  
二〇一〇年二月二〇日立命  
館宇治高校の選抜甲子園大  
会出場に伴う、寄付依頼が  
ありました。校友有志五十四  
名より二八万八八〇〇円の  
ご寄付をいただきましたの  
で三月十九日大学へ送金い  
たしました。

- 友永 英宣 齊藤佳代子  
笹井 博見 永田 康寛  
榊木 実 乗竹 信之  
宇野 浩治 伊藤 寛一  
伊東 純一 小川 康一  
栗林 慎人 岩永 裕介  
地蔵 芳徳 鎮守 正和  
上藤 正純 小森 哲彦  
横山 新治 藤野登志雄  
中嶋 成海 平井 正雄  
吉川 利夫 竹澤 輝治  
橘 誠一 清野 博之  
出村久仁男 清川 伸一  
福井 亨 吉田 学  
鎌田 康浩 芝原 靖之  
野崎 俊宏 宮崎 俊宏  
宇野 義規 川口 佳一  
西田 英夫 光森 久幸  
東条 七重 長谷川正子  
高橋 正樹 山崎 洋一  
（以上）

福井商工会議所  
福井市西木田2-8-1 TEL.0776-36-8111(代)

福井大学  
工学研究科准教授 工学博士  
宇野 文男 (S47・産社)

元気 活力 福井信用金庫  
理事長 大久保貞次 (S41 経済)

株式会社 地蔵屋 不動産部  
TEL(0776)21-6201  
代表取締役 地蔵 芳徳 (S42.経)

日本工業規格表示許可工場  
UBE 福井宇部生コンクリート株式会社  
代表取締役社長 南谷 哲彦 (S40.理工・土木)

福井県庁有志  
品谷 義雄 (S48.法)  
森田 正守 (S47.法)  
永田 康寛 (S47.経)



福井信用金庫は、昭和五年に福井信用組合として営業を開始、戦災・震災等の苦難の時を乗り越え、昭和26年に信用金庫法の制定により福井信用金庫に改組いたしました。そして、平成十三年には、福井・福井中央・鯖江の3金庫が合併し現在の福井信用金庫となっております。

福井信用金庫役員一同は、「地域のために」を合言葉に、地域に根ざした金融機関として皆様と共に歩み、より充実したサービスの提供ができるよう日夜努力しております。

さて、本年八月十五日に、福井信用金庫は創立八十周年を迎えました。これも偏に地元の皆様をはじめ、各方面の方々の永年にわたるご愛顧とご支援の賜物であり、本誌面をお借りしまして心より厚く御礼申し上げます。

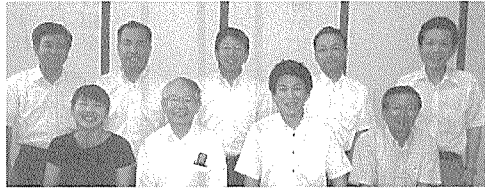
この創立八十周年の記念すべき年に、立命館大学OBであります大久保貞次（S41経済卒）が理事長に就任いたしました。誠にめでたく、私たちの後輩OBにとりまして大変誇りとするところであり、今後ともご指導・ご鞭撻

をお願いするものであります。今回の福井県校友会だよりへ寄稿にあたり、大久保理事長から次のとおりコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

「マスメディア等で、文化、芸術、スポーツその他、あらゆる分野での母校のご活躍を

### 職場めぐり

福井信用金庫  
「ふくしん」創立80周年  
大久保理事長中心に校友11人活躍



大久保理事長(前列左より2人目)を囲み歓談する校友たち

OBは、大久保理事長のもと、福井信用金庫悠久の発展に向けて、一致団結して職務に精励するとともに、より一層の親睦を図っていききたいと思っております。

今後とも福井信用金庫をよろしくお願いたします。(報告 前原明彦・S56経営)

拝見し、校友として大変喜び、誇りに思っている一人であります。この度、創立八十周年の記念すべき節目の年に、理事長に就任して、大変な重責で身の引き締まる思いを致しておりますが、母校の名を汚さないよう全力を尽くしてまいりますので、校

友の皆様方の暖かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。現在、福井信用金庫の立命館校友は、子会社二名を含めて十一名おり、二年に一度開催される校友の集いに、大久保理事長を始め幹部職員が毎回出席しております。日頃は、仕事が忙しく、別々の職場に配属されていること

もあり、なかなか校友同士の親睦を深める機会がありませんが、先般、久しぶりに、大久保理事長を囲んでの懇親会を開催し大変盛り上がりましました。私たち立命館OBは、大久保理事長のもと、福井信用金庫悠久の発展に向けて、一致団結して職務に精励するとともに、より一層の親睦を図っていききたいと思っております。

今後とも福井信用金庫をよろしくお願いたします。(報告 前原明彦・S56経営)

### 随想

受験のため京都の街を歩いてみると、白いものがフワフワ舞っていました。灰？埃？

ボタ雪しか知らず、よもやあれが雪だとは考え及びませんでした。立命館での四年間はカルチャーショックの連続でした。

しかし充実していません。入学年度が産科十周年で、湯川秀樹博士の講演を、以学館の薄暗い超満員の講義室で聴き入ったもの

### 故白川静先生 生誕百年

二〇一〇年は故白川静先生生誕百年にあたる年。福井県を中心に生誕百年記念フォーラムが数回開催され、多くの県民は先生の偉業と白川文字を知る機会を得た。

クシントを全小学校に配布。白川文字を生かした国語の授業が進められている。一方、七月には、「文字の国福井」漢字文化発信」と題し県国際交流会館で二日間



ユーマアを交えて講演する金田一教授

「白川文字学」を生かした公開授業などが行われた。

講演で言語学者で杏林大の金田一秀穂教授は「漢字は表意文字である。その時の情景や心情が分かる文字である。日本人はもっと多く漢字

を使ってほしい。このことで漢字文化のみならず、東アジア文化の高揚にもつながる。」と強調した。会場には白川さんの遺族から県に寄贈された、先生が愛用されていた机や文房具など約五十点が展示された。なお白川先生に関する資料は県立図書館にある「白川文字学の室」、県立こども歴史文化館にそれぞれ常設展示されている。

「男はつらいよ」などの映画で知られる名匠・山田洋次監督（立命館大学客員教授）が、立命館大学映像学部の学生たちと作り上げた映画「京都大妻物語」は、十月九日から二十九日までの三週間、福井市中央一丁目のテアトルサンクで上映されます。福井県校友会でも観賞を薦めており、チケットは当日券一〇〇円です。

映画のあらすじは、大妻の商店街に住む立命館大学図書館に勤めるヒロイン（海老瀬はな）が、図書館で白川文字学を研究する青年（田中杜太郎）と出会ったり、幼なじみ

### 平成二十二年度父母懇談会開催(福井)

立命館大学福井県父母懇談会が五月三十日、福井パレスホテルで開かれ、板木雅彦国際関係学部長、日下貴之工学部長、菊池ゆかり文学部事務

長ら大学の教職員はじめ、県内の父母ら約六十名が参加した。県校友会からは村尾敬治会長が来賓として出席した。本県の父母委員川口恭央氏と田中保雄氏の進行で、午前中全体会が行われた。まず川口清史館長のビデオメッセージと立命館大学放送局制作の「学生生活紹介」DVDが大画面に放映されたあと、大

学側を代表して板木学部長が「学生・父母の方々と大学が手を携えて国内ならびに国際社会に貢献できる幅広い人材を養成したい。福井は故白川静先生の故郷でもあり、立命館と福井は縁が深い。この四月に大学で「知事リレー講演」で西川福井県知事に白川文字学と福井の教育と題して、学生に向けて講義してもらった」と挨拶。また村尾会長

は「国内約八百を超える大学のなかで、組織・教学内容・教授陣・学生の資質などで上位十位以内にランクされている。県内には二千名を超える校友が多岐に活躍している。卒業後、福井県に戻られ活躍して頂ければありがたい」とエールを贈った。県内企業に就職内定した四回生三人も出席し、就職活動の体験を具体的に分かりやすく、感情豊かに話された。父母からは、二人に対して大きな暖かい拍手がおこられていた。

その後、昼食をはさんで、午後からグループ別懇談会が行われ、父母と教職員との間で有意義な活発な意見交換が行われた。

### 教えるより 教わることの方が多し

齋藤佳代子 (S50産業社会学部)



い講義に魅せられました。図書館通い、読書三昧の日々を満喫したものでした。学ぶ楽しさ、知る喜びをあたえられ、卒業後は教育に携わってまいりました。中でも、武生看護専門学校

で社会学の講義を担当した五年間は、非常なストレスでありましたが、貴重な財産となっています。最初の講義は忘れもしません。二回目以降は社

会問題を扱うつもりでしたが、初回は社会学の概論を述べねばと準備しました。一通り語って時計を見たら僅か三分の経過。エーあと一時間もどうすればいいの！でした。DVの被害者で生活保護を

受けながら子と再出発した人。社会福祉士だった。が、挑戦しているお父さん等々、様々な背景、過酷な状況にある人々を前にすると、私の空理空論などきれいな事ではない。教えるより教

わる方が多い、今も課題を頂いている経験でした。カリキュラムの変更で解放されましたが、現在は、この子の人生の一時期かわらせて頂くとの思いで、家庭教師をつとめさせて頂

いています。

寄贈された愛用品



寄贈された愛用品

「男はつらいよ」などの映画で知られる名匠・山田洋次監督（立命館大学客員教授）が、立命館大学映像学部の学生たちと作り上げた映画「京都大妻物語」は、十月九日から二十九日までの三週間、福井市中央一丁目のテアトルサンクで上映されます。福井県校友会でも観賞を薦めており、チケットは当日券一〇〇円です。

映画のあらすじは、大妻の商店街に住む立命館大学図書館に勤めるヒロイン（海老瀬はな）が、図書館で白川文字学を研究する青年（田中杜太郎）と出会ったり、幼なじみ

は「国内約八百を超える大学のなかで、組織・教学内容・教授陣・学生の資質などで上位十位以内にランクされている。県内には二千名を超える校友が多岐に活躍している。卒業後、福井県に戻られ活躍して頂ければありがたい」とエールを贈った。県内企業に就職内定した四回生三人も出席し、就職活動の体験を具体的に分かりやすく、感情豊かに話された。父母からは、二人に対して大きな暖かい拍手がおこられていた。

その後、昼食をはさんで、午後からグループ別懇談会が行われ、父母と教職員との間で有意義な活発な意見交換が行われた。

お笑い芸人を目指す青年（USA）も絡んで展開するラブストーリー。衣笠キャンパスでもロケをしており、懐かしい風景が見られます。ことは白川静博士の生誕百周年にあたり、県内でもイベントが展開中です。そのため、京都に次いで二番目に福井での公開が決まりました。福井では、伊井興業が上映を引き受け、福井新聞社も紙面でバックアップを計画しています。

**福井新聞社**

取締役 兼 企画・総務部長	竹島 実 (S49. 産社)
編集長	西尾 栄一 (S49. 経営)
営業局長 兼 専任部長	前田 桂勝 (S54. 経営)
メディア情報部長	藤越 司 (S54. 産社)
文化生活部長 兼 論説委員	川上 己夫 (S54. 経済)
社会部編集委員 兼 論説委員	上嶋 芳士 (S55. 経営)
南営業部長	出田 剛 (S58. 産社)
大野支社長 兼 山支局長 兼 論説委員	奥山 岳 (S61. 経営)
メディア整理部編集委員	山田 久弘 (S62. 法)
三國支社長 兼 丸岡支局長 兼 論説委員	ほか3名

**HARBOR STATION**  
TSURUGA FM BROADCASTING  
ハーバーステーション 77.9MHz

敦賀FM放送株式会社  
代表取締役 奥瀬 浩之 (S59. 産社)

〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目12-3 TEL0770-23-3370 FAX0770-23-3375

『情報化技術を通じて、社会と共生する』

**esm**  
永和システムマネジメント

株式会社永和システムマネジメント  
代表取締役会長 小山 公一郎 (S38. 経)

〒918-8231 福井市問屋町3丁目111番地 TEL (0776) 25-8488

総合建設業・鋼構造物工事業

**中村建設工業株式会社**

代表取締役 中村 邦男 (S33. 理工)

〒916-0081 福井県鯖江市石田下町37号11番地2  
TEL (0778) 52-1230(代) FAX (0778) 53-0028  
E-mail: info@nakamura-s.co.jp

技術とまごころで奉仕する総合建設コンサルタント

株式会社 **帝国コンサルタント**

会長 高橋 正樹 (S32. 理工・土木)  
代表取締役 中西 誠一郎

(営業種目) 土木設計 測量、都市計画、環境調査、地質調査、補償業務、一般建築、電算業務

本社 福井県越前市国高1-48-2 TEL (0778) 24-0001  
東京本社 東京都豊島区南大塚1-60-20 TEL (03) 3944-5141  
大阪本社 大阪府大阪市中央区船場町1-1-11 TEL (06) 942-7087  
支店 仙台・福岡 出張所 金沢

総合建設業

株式会社 **土本組**

代表取締役社長 土本 正道 (S57. 理工)

(本社) 大野市中野7-1  
TEL (0779) 66-2448

ただいま就学中

「校友関係」築きやすい 立命館大学 舟津麻子 (平成22年仁愛女子高校卒) 産業社会学部人間福祉専攻一回生 部活: 広告研究会

入学してからは時間が過ぎるのがあっという間でしたが、今とても充実した大学生

活を送っています。まず入学してすぐに新歓祭があり、まだお互い知り合っていないクラス仲間と試行錯誤しながら、新歓祭に出店する模範店の準備をするなかで、一気にクラスの仲が深まったように思います。この他にも、クラスでの活動は数多くあり、立命館大学は、新入生にとって一番不安な「校友関係」を築きやすい環境にあると実感しました。

の受講は勿論のこと、サークル活動にも積極的に取り組んでいます。サークルは、広告研究会に所属していて、展示会の開催やフリーペーパーの作成などを行っています。今は秋の文化祭での展示会に向けて、個人プレゼンをしたり、皆で意見を出し合いながらどのような展示をするか、夏休み中も毎日学校に集まり話し合っています。展示会一つ作り上げていくにも、サークルのメンバーとの話し合い、校内や大学周辺の商店へのPR活動などを通じて、いろいろな経験ができて充実した学生生活を送っています。また、私

はサークル活動以外にも7月に開催された産業社会学部の学祭「PPP」のスタッフで、約一カ月という短い間でしたが、「無限に伸び続ける産生の活力」をイメージした「豆の木」をなんとか完成させることができました。いま振り返ると、話し合いの時、意見を押し付けるのではなくお互いに理解しようとする姿勢が大切であることが身に付いたように思います。また一番に学んだことは、協力し団結することの素晴らしさでした。毎日遅くまでの作業で大変でしたが、皆まじめに取り組んでいて、同じ目標を



「豆の木」をつくった PPP のスタッフ

持つて集まった仲間であることを実感しました。協力してもらったことで感謝の気持ちが生まれ、自分も協力するというサイクルが自然とできています。

EICの結果も必要な企業も増えてきているため、TOEICはとても重要なものだと私は考えています。大学へ入ったばかりの四月ころは、分からないことがばかりで大変でしたが、クラスにオリターといって二、三回生の先輩がついていてくれて、履修・大学生活・部活やサークル活動についてアドバイスしてくれたのでとても助かりました。また授業にもTA(ティーチャー)と言ってアシスタントとして先輩がついてくれているので、授業で分からないことも気軽に質問することができ、これらの制度は立命館ならではのものなので、とても魅力的な部分だと思います。

生活面では、下宿生が多いため、一緒に食事したり、相談しあったりなどお互いに助け合っています。はじめは不安だらけの一人暮らしでしたが、今は友達と一緒にご飯を作ったりすることもあり、とても楽しいです。大学は高校とは違い、自分の時間を有効に利用してサークル活動やアルバイトに励んでいます。今までは一人では何もできなかった私、進んで色々なことに挑戦する意欲が出てきました。今後さらに充実した学生生活を送るためにも、大学生活の中で自分の目標をしっかりと定めて前進したいと思います。

私は立命館大学を受験する時点で現在の職業である行政職を希望していたため、法学部法学科政治行政専攻を志望しました。入学後、できれば学生生活後半には公務員試験の勉強に専念したいと思い、一回生の間は可能な限り単位の取得に励みました。その一つとして、他大学の講義を受講することができ大学コンソーシアム制度を活用し、夏季休暇中や夜間の講義を受講しました。大学内で取得可能な単位の限度数を越えて単位を取得できる制度であるため、計画的な受講ができました。



四大学の講義を受け、公務員試験合格を目指す

講ができました。私は四つの大学の講義を受講させて頂きましたが、いずれもそれぞれの大学ならではの特色ある講義で教養の幅を広げることができたと感じます。また、経済分野にも興味があったため余暇を利用して資格取得に取り組み、二級FP技能士の資格取得にいたしました。前半にはほぼ予定通りの単位取得ができたため、後半は受験勉強に専念でき、現在は福井県庁の行政職に就かせて頂いています。

行政職は様々な部署に配属される可能性があり、多くの法律の知識が必要となつてきます。大学の四年間という時間を一つの目標に向かって計画的に過ごすことができたという自信と、大学内外で得た法律の学び方を生かしながら積極的に仕事に励みたいと思っています。(福井県庁 丹南土木事務所管理用地課勤務)

若人校友席

大学時代の強烈な思い出は入学当初に「小寺君は帰国子女なの？」と同級生に質問されたことです。立命館大学は全国各地から学生が集まりますが、その中でも私の「なまり」は突出していたみたいです。大学のゼミでは、P.F. ドラッカーを専攻し、組織が社会に果たす役割を研究しました。しかし、わたしの主な活動は勉強でなく、アルバイトでお金を貯めて、旅に出るといふ繰り返してました。アルバイトは



原動力は感謝の心

平成20年経営学部卒 小寺輝典

中国大陸のシルクロード横断で、旅の魅力に取りつかれ、アジア・オセアニア・ヨーロッパなどを旅し様々な文化に触れました。そこで学んだことは「出会いに感謝すること」でした。出会いに感謝するこ

と「でした。人との出会いが自分を形成していくことを知りました。銀行業を選んだ理由は、若い時期から多くの社長と出会うチャンスがあると思ったからです。現在、札幌市内にある支店で勤務しています。大学時代はコンプレックスだった「福井なまり」でしたが、現在は「なまり」でもなんでもいいため、早く社長に

顔を覚えてもらいたいという思いで活動しています。立命館大学の良さに気付くのは卒業してからだと私は感じています。大学時代の仲間が全国で活躍していると思うと、勇気をもらえます。そして二年前の福井県校友会で知り合うことができた先輩方、同級生には多くの愛を頂き支えて頂きました。感謝の気持ちでいっぱい입니다。(北陸銀行 苗穂支店勤務)

立命館ならではの制度に魅力

東出 祐夏 (平成22年仁愛女子高校卒) 経済学部国際経済学科一回生

私は今立命館大学の経済学部国際経済学科で勉学に励んでいます。私が立命館大学を選んだ理由は、留学制度などの国際交流に力を入れており、今後社会で必要とされる英語に對しての指導がしっかりとされているからです。特に私のいる国際経済学科では、経済学科とは違い、英語の授業が少人数クラスとなっており、先生との距離も近く質問もしやすく学びやすい環境となっています。また、留学や勉強についての相談のつてくださるアドバイザーの先生もいます。TOEICなどのテストは大変ですが、英語力がつくうえに就職に役立つものなのでしっかりと点数をとれるようにしたいです。最近では企業側の入社条件にTO



クラスメイトと模擬店を(新歓祭より)

全国校友会から、内容はもとより、紙面構成の面でも素晴らしいと賞賛をうけていた「福井県校友会だより」。岩永裕介氏(昭34経済学部卒)のご努力によるところが大きかったことは、誰もが認めるところです。そのあとを受け継ぐことに逡巡しましたが、お引き受けしました。今回新たに、県内高校出身者で現在在学中の学生さんの学生生活を気楽に報告してもらうコーナー「ただいま就学中」を設けました。ご多用の中、快く原稿や広告をお寄せ頂いた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。(S42文 吉川博輔)

株式会社 西浦法衣仏具店

取締役社長 西浦 良三 (S35.経)

福井市大手2-22-39 ☎22-4682・22-6374

福井市役所立命会

- 局長 矢野文雄 (S49.法) 主査 上田泰弘 (H8.法)
副館長 向出正信 (S50.経) 主査 笹野知輝 (H11.経)
課長 山崎義人 (S51.法) 消防士長 江守拓郎 (H11.経)
室長 松山雄二 (S57.営) 主事 野瀬怜美 (H14.産)
主任 前田誠一郎 (S61.経) 主事 齋藤法之 (H14.法)
主幹 加畑幸一 (S62.経) 主査 三木真人 (H16.法)
主幹 加藤嘉寿哉 (S62.営) 主事 野尻郁恵 (H16.産)
主幹 林俊宏 (S62.経) 主事 岩崎一友 (H17.経)
主幹 加畑博幸 (S63.経) 主事 佐々木勇人 (H17.文)
主幹 木村恒昭 (S63.経) 主事 白崎大介 (H18.理工)
主幹 村田耕一 (S63.文) 主事 毛利由希恵 (H19.産)
副主幹 黒川忠興 (H4.産) 技師 木谷達也 (H20.理工)
副主幹 上田浩平 (H5.法)

特定建設業 砂利・砕石製造販売業 株式会社 羽崎組 代表取締役社長 杉森 吉博 (S45.産社) 福井市志比口3丁目1-7 TEL (0776) 54-2800(代)

総合建設業 株式会社 建世 KENSAY 代表取締役 前川 修康 (校友) 取締役 山崎 利昭 本社/〒912-0053 福井県大野市春日3丁目20-7 TEL(0779)66-0675 FAX(0779)65-8780 営業所/〒698-0041 島根県益田市高津6丁目22-21

仁愛女子高等学校 吉川 博輔 (S42文) 岸本 雅行 (S49文) 山口 治一 (S60法) 藤部 仁志 (H4.理工) 温熱健康道場代表 高橋 省一郎 (S40法) 東條 七重 (S46文) 東條整骨院院長 西田 常夫 (S36理工) 関西国際大学理事・評議員 教育総合研究所代表取締役 笠松 忠夫 (S37理工) 福井市上文殊公民館館長 吉川 利夫 (S33法) (福井県庁退職者連盟 福井東部支部長) 村尾 敬治 (S47産社) 立命館大学 福井県校友会 会長

文具・事務機器・OA機器商社 株式会社 池五 IKEGO 専務取締役 丸井 久明 (H13.経営) 本社 坂井市三国町新保34字1-13-3 TEL (0776) 81-2504(代) 流通センター 坂井市三国町新保34字2-21 TEL (0776) 82-5160